

第31回 日本眼科記者懇談会

2025年10月30日（木）

まぶたの病気

「まぶたで困っている人、多いです」

日本眼科医会 常任理事 高梨泰至



1

「まぶたで困っている人、多いです」①

ばあば（62）

「〇〇ちゃん（生後2ヵ月）はいつもご機嫌だけど、おめめがなんか気になるわね。ほら、右の目が小っちゃくない？」

ママ（28）

「そうかな？（不安）今は眠たくて、目が開いてないだけよ。1ヶ月健診でも何も言われなかったし、最近は私の顔見て笑うよ」

ばあば

「そうね・・・動くものを追いかけて見てるから大丈夫かな・・・」

2

「まぶたで困っている人、多いです」②

主婦（60）

「昨日の同窓会、楽しかったね。写メ送ってくれてありがとう。自分の目が何か小さくなってて、ちょっとショック」

同級生（60）

「そんなことないよ。わたしこそ、額に横のしわがクッキリでビックリしたわ」

主婦

「最近、目も疲れるし、肩も凝るし。年よねえ」

3

「まぶたで困っている人、多いです」③

おじい（73）

「この前、運転してて赤信号見落としそうになって、急ブレーキ踏んだんじゃ」

むすめ（45）

「見えてないなら危ないじゃん！もう運転止めなよ」

おじい

「でも、指でまぶたを持ち上げたら見えるんじゃ」

4

「まぶたで困っている人、多いです」④

おじい (73)

「この前、運転してて赤信号見落としそうになって、急ブレーキ踏んだんじゃ」

むすめ (45)

「見えてないなら危ないじゃん！もう運転止めなよ」

おじい

「目が細くなって、開かんのじゃ。何とかならんかなあ」

5

「まぶたで困っている人、多いです」⑤

課長 (52)

「おはよう。なあ、起きたら何か右目が開かないんだ。指で持ち上げると、ものが二つに見えるし」

妻 (48)

「本当だ、閉じてるね。大丈夫？あつ右目は外を向いてるよ。」

課長

「病院行かなきゃまずいよね。午後のプレゼンどうしよう？部長に電話するか」

6

「まぶたで困っている人、多いです」⑥

女性（35）@オフィス

「最近、午後になると疲れやすいんだよね。って言うか、力が入らない感じ」

同僚（42）

「そういえば、なんだか眠そうだね。目がとろんとしてるよ」

女性

「眠たくはないんだけどね。お茶飲んでシャキっとしてくるわ」

7

「まぶたで困っている人、多いです」⑦

はは（40）

「〇〇ちゃん、ものもらい、やっと小さくなってきたね」

むすこ（8）

「まだ塗り薬塗るの？もう1か月くらいなるよ」

はは

「まだ赤みが残ってるじゃない。最後までなくなったら、病院行きましょう」

8

「まぶたで困っている人、多いです」⑧

妻 (82)

「ものもらい、なかなか小さくなりませんね」

夫 (85)

「塗り薬、もう1か月くらい塗ってるのにな。少し硬くなった気もする」

妻

「また病院いきましようか？タクシー予約しますか？子どもたちも忙しそうだし。運転免許返納してから大変ですね。」

9

「まぶたで困っている人、多いです」⑨

妻 (58)

「最近、目が眩しくて、ひどいときは痛くて目が開かないのよ」

夫 (60)

「そのなのか。年だからなあ。サングラスかけてみたら」

妻

「家の中でも眩しいのよ。家でサングラスはおかしいでしょ？」

10

「まぶたで困っている人、多いです」⑩

妻（58）

「最近、目が乾いて、ひどいときは痛くて目が開かないのよ」

夫（60）

「ドライアイで目薬指してたよね。回数増やしてみたら？」

妻

「もう6回くらいやってるよ。風が当たるから自転車にも乗れないのよ」

11

「まぶたで困っている人、多いです」

- 日本でどれくらい、いるのか？
- どんな人になるのか？
- どんな症状なのか？
- どんな治療があるのか？
- 3人のスペシャリストに分かり易く解説してもらいましょう。

12